

ガバナー月信

vol.10 2025.4



3月の室賀年度PETSで

月信4月号

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| ① ガバナーメッセージ | ⑥ 財団委員会通信 |
| ② 米山記念奨学生終了式・歓送会 | ⑦ 地区主要行事予定（4月・5月） |
| ③ スキー国際交流研修 | ⑧ 新入会員紹介・訃報 |
| ④ 室賀年度 クラブ会長エレクト
研修セミナー（PETS） | ⑨ コーディネーターニュース |
| ⑤ 地区ラーニング委員会 | ⑩ ハイライトよねやま |



国際ロータリー第 2560 地区
2024-25 年度

南雲ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



室賀年度 PETS 開催される

2024-25 年度 ガバナー

南雲 博文 (長岡 RC)

2025-26 年度の室賀年度の PETS が、3 月 15 日にホテルイタリア軒で、盛会裡に有意義な研修として開催されました。各クラブにとりましては、この会から実質次年度の準備がスタートすることになります。地区チームの役員の方、ガバナー補佐、クラブ会長幹事が一同に集まり室賀ガバナーエレクトから、RI 会長エレクトのメッセージ、地区運営方針の発表がなされました。これを受けまして更に地区研修・協議会を経て、7 月 1 日からの新年度の活動開始と進むことになります。

RI 会長エレクト デ・カマルゴ氏（通称マリオ氏と呼ぶそうです）のメッセージ「UNITE FOR GOOD（よいことのために手を取りあおう）」、「ロータリーの最大の財産は会員である！」とさらに、3 つの柱として、「1. 革新しながらも一貫した伝統を築く」、「2. 継続性」、「3. パートナシップ力」、以上を発表されたということです。

それを受けて、室賀ガバナーエレクトは「ロータリーは善の循環」でより大きなインパクトをもたらそうと発表され、3 つの柱と数値目標を掲げられました。

1. ロータリーの行動計画、クラブの戦略計画の作成と実践
2. 公共イメージの向上が会員拡大のポイントである
3. ロータリーファミリーのすそ野を広げる、そしてパートナーシップを広げることはロータリーの拡大を意味する。

室賀ガバナーエレクトは、早くから地区役員を経験され、青少年育成、国際交流に積極的に関わり、ロータリー経験も知識も豊富であり、大いにご期待をしているところであります。

4 月は環境月間です。2022 年 RI 理事会が 10 月に決定しました。

特に、「環境を守る」、「気象変動に対応する」、「生息地を救う（動・植物の自然環境のバランスを守ることは人間の生存を守ることになる）」を強調しております。

これからは人類のサステナビリティの最優先の課題になってきていると思います。

国連事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と言われました。

もっと真剣に考え、取り組んでいくことを考えたいと思います。

米山記念奨学生終了式・歓送会

米山記念奨学委員会

奨学生学友委員

大野 博美 (新発田城南 RC)

3月1日土曜日、ホテルイタリア軒で2024-25年度米山記念奨学生終了式・歓送会が開催されました。2025年3月終了奨学生10名、8、9月終了奨学生3名に南雲ガバナーより一人一人に終了証書が授与され、その後カウンセラー代表の新発田RC 原庄司様と渡邊嘉子米山記念奨学委員長から奨学生への思いのこもった贈る言葉をいただき、終了式を無事終えることが出来ました。

終了式後の歓送懇親会では出席した奨学生全員から近況について、未来への希望、感謝の言葉など思い思いのことを話してもらいました。奨学生としては終了しますが学友としては始まりです。学友は一生学友でいることが出来ます。これからは学友となり今まで築いたロータリアンとの絆、奨学生、学友との絆を大切にしたいと思えます。そして活躍の報告が届くこと、またお会いできることを楽しみにしております。

結びに奨学生を受け入れていただいたロータリークラブとカウンセラーの皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

ロータリアン皆さまからのご支援により米山記念奨学事業を行うことが出来ております。今後ともご支援ご協力の程、切にお願い申し上げます。





スキー国際交流研究会に参加して

青少年交換委員会

委員

鈴木 映一（新発田 RC）

本研修は国際交流サポートチームが主催し、長岡高専インターアクトクラブが、留学生がウィンタースポーツを体験し交流する事で異文化交流と多世代交流により相互の信頼を深めて、お互いが成長することを目的として企画、実施してきました。

本年度においては、青少年奉仕委員会も今まで以上に協力をし、青少年交換受入学生や米山奨学生、ROTEX、ロータリアンが参加をし、素晴らしい交流が出来たと考えています。今まであまり交流のなかった同士が集まることで、それぞれが新たな刺激を受けていたように見受けられました。

日中はスキーやスノーボードを一緒にする事で親近感が生まれ、夜の交流会ではROTEXが仕切りをしてくださり、異国の文化や夢や目標を語り合う素晴らしい時間が持てたと感じました。日本、アメリカ、ドイツ、タイ、モンゴル、ブルンジなどの言語の違う学生たちが、そこでは共通語として日本語で会話をしている。そんな光景は何とも不思議でありながら、日本人の私にとっては非常に嬉しく、誇らしくさえ感じられました。

今後は青少年交換委員会、米山奨学委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会などがより積極的に関わり、交流の輪を広げることでそれぞれの成長につながっていくと確信が持てるような本当に素晴らしく、そして素敵な事業であったと感じております。

私が引率していった交換受入学生は、ロータリーの交換プログラムを選んだ理由は、ただの留学ではなく様々な経験が出来る事、そして交換留学の修了後にはROTEXになり活動出来る事であり、そして今からROTEXでの活動が楽しみであると、嬉しそうな表情で話してくれました。

今回のROTEXの活躍を見てそのことを益々実感したことでしょう。

次年度以降、この活動が益々活発になる事を期待しております。

関係各位には心より感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。





クラブ会長エレクト研修セミナー PETS 報告

PETS 実行委員長

小林 正栄 (白根 RC)

2025年3月15日土曜日ホテルイタリア軒にて、2025-26年度クラブ会長エレクト研修セミナー PETS が開催責任者の室賀信宏ガバナーエレクトの点鐘で始まりました。

県内 54RC の会長エレクト、幹事エレクト、そして南雲博文ガバナーはじめ地区諮問委員、ガバナー補佐、地区委員長、RAC 地区役員、ガバナースタッフ等 160 名の出席のもと開催されました。

今年度は国際協議会が例年より遅れ、短期間で PETS の準備をしなければいけなかったため、紙ベースのプログラムを印刷せず、PDF にて配信することにし、地区ホームページからもアクセスして閲覧できるようにいたしました。

また、ホストクラブの白根 RC の第 3 分区は小規模分区です。それ故に分区内全員で協力していかなければなりません。PETS 当日は池野ガバナー補佐が声掛けをして第 3 分区出席者全員が早朝に集合し、準備と出迎えをいたしました。

さて、セミナーでは東村里恵子副幹事の司会で次年度役員紹介があり、続いて室賀ガバナーエレクトより、「RI 会長方針と新年度地区運営方針」と「ICC 小さな一歩から始める国際協力について」の説明がありました。

昼食後、各分区毎にガバナー補佐による会長幹事会が開かれました。

午後からは「PETS から始まる会長年度」というテーマで、高橋秀樹地区ラーニングファシリテーターによるビデオ講義と、「3 year rolling goals の説明と進捗」に関する講義が関川博地区ラーニングファシリテーター補佐からありました。

その後、分区方針の発表がガバナー補佐からあり、セミナーは終了いたしました。

懇親会の始まりはアトラクションとして、新潟ドルチェマンドリンアンサンブルの演奏でした。「ムーンリバー」「真珠採りの歌」など計 5 曲を、心を癒す優しい音色でホールを響かせました。大変好評で私もドルチェのメンバーとして参加しました。

ホストクラブの白根 RC 大矢昭宏会長の歓迎の挨拶があり、その後乾杯に入りました。あちこちで名刺交換や賑やかに交流、歓談が見られ、有意義な時間になりました。

最後は全員輪になって“手に手つないで”を歌い、中澤實 PETS 副実行委員長の三本締めで閉会いたしました。

第 3 分区のメンバー全員で、会場出口で見送り、PETS を終了いたしました。





PETS から PELS へ

2025-26 年度
地区ラーニング委員会
地区ラーニングファシリテーター補佐
関川 博 (三条 RC)

室賀年度 PETS にて、高橋地区ラーニングファシリテーター（以降 DLF）が「PETS から始まる会長年度」のラーニングを 1 時間 25 分の枠で実施する予定でしたが、あいにく都合が合わずビデオにて高橋 DLF のラーニング 25 分を実施し私が残りのセッションを担当いたしました。当地区は現在、地区ラーニングファシリテーターを高橋パストガバナーがお一人担当されていますが、もしもご病気やご都合が合わないなど突発的なトラブルで欠席されることを懸念して、地区ラーニング委員会の組織内に代役として「地区ラーニングファシリテーター補佐」が新設されました。PETS のラーニングセッションでなぜ？地区ラーニング委員会なのか？と疑問を持たれた人もおられると思いますが、委員会活動というよりは高橋 DLF をサポートすることが目的ですのでご理解をいただきたいと思います。

尚、RI 会長エレクトメッセージと室賀ガバナーエレクトの地区目標については、他のご担当から報じられていると思いますので割愛させていただきます。

今回のセッションでは、昨年 11 月 2 日に実施された「クラブ会長幹事ラーニング」で既にラーニング済みの内容であり、その中でも特に重要なポイントに絞ってのラーニングでした。高橋 DLF からは会長年度まであと 3 ヶ月となりここからやるべき事柄を丁寧に説明され、近年の国際ロータリーの時流の変容に合わせる必要性など、2018 年に国際ロータリーが提唱した 4 つの優先事項を数値化し、単年度の良さと経年に繋げる重要性を説明されました。

室賀ガバナーエレクトのスピーチにもその話題が提供されており、「インパクトとは、活動から生じた長期的で好ましい変化。活動がなければもたらされなかった、測定可能な変化」とされ、特に重要なポイントは「測定可能な変化」と力説されていました。このことは高橋 DLF に続き、私の担当する「3Year Rolling Goals」につながるものであり、室賀ガバナーエレクトからの連携が非常に良かったと思います。

3Year Rolling Goals は 2018 年に提唱された戦略計画の 4 つの優先事項を数値化し 3 年を経過したところで結果を検証するトライです。昨年のクラブ会長幹事ラーニングでは、この内容を説明し数値をマイロータリーのクラブセントラルに入力することを説明し、その後のアンケートでは、ほぼ全てのクラブが賛同し入力するとの意向でした。しかし現在は 28 クラブに留まっている現状であり、このセミナー終了後は必ず入力することを再確認いたしました。

ラーニングという単語も、そろそろ耳に馴染みができている人も多くなってきたと思います。「研修からラーニングへ」地区ラーニング委員会は高橋年度に始まり、南雲年度、米山年度、室賀年度と四年度となりました。ラーニングの重要性を説明し、今後は「研修」から「ラーニング」へ「講義」から「ファシリテーション」へシフトすることを、この月信でも再三報じてきました。



PETS も次年度より President Elect Learning Seminar 「PELS」 へ変わります。ロータリーは変容を繰り返し、時には革新、改革を実行し世界に広がり、世界で良いことをする行動人として認められリスペクトされる団体になりました。これからも更に持続するために今から新たな変容と革新が必要です。その一つに「ラーニングとファシリテーション」の導入があります。どうかご理解いただき、更なる高みを目指して行動を共にしましょう。



高橋 DLF のビデオに合わせて、パワーポイントをめくっていく形式は、南雲年度ガバナー補佐ラーニングパート1で経験済みでした。リアルより良かったと好評でした。



「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

認証 Recognition について

ロータリー財団委員会 副委員長
武田 真(水原 RC)

ロータリーではロータリー財団に対するご寄付のお礼として寄付者を表彰する認証制度があります。このたびの月信において主な寄付分類や認証額などをご説明させていただきます。

【個人の認証】

① 「財団の友」会員

年次基金に毎年 100 米ドル以上寄付された個人です。

② ポール・ハリス・フェロー (PHF : Paul Harris Fellow)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (PHF+1~+8 : Multiple Paul Harris Fellow)

ポール・ハリス・フェローは寄付分類として年次基金、ポリオプラス、ロータリー災害救援基金、財団が承認した補助金プロジェクトへの寄付および移譲されたポール・ハリス・フェロー認証ポイントの合計が 1,000 ドルに達した個人に贈られる認証です。その後、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1 から 8 までの認証が、1,000 ドル毎に累計 9,000 ドルまで贈られます。

※マルチプルとは「多数・複数」の意味。例えば 1 度ポール・ハリス・フェローになった方（累計 \$ 1,000 以上寄付した方）が、もう一度ポール・ハリス・フェロー対象の累計に達するとマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。例えば PHF+3 の場合、マルチプル・ポール・ハリス・フェローの 3 回目で、累計 4,000 米ドルの方に送る認証です。

③ ベネファクター (Benefactor)

恒久基金に 1,000 米ドル以上寄付した方、または資産計画にロータリー財団を受益者として指定することを書面にてロータリー財団に通知した方です。ただし、ベネファクターの認証は、恒久基金への寄付合計が 1,000 米ドルに達した 1 回のみ贈られる認証です。（認証ポイントは含みません。）

④ メジャードナー (MD : Mejer Donor、MD レベル 1~4]

寄付分類に関わらず累計額が 1 万米ドル以上寄付された方の認証です。個人又は夫婦に対して贈られます。

- ・ 認証ポイントはこの認証の対象とはなりません。
- ・ 累計のレベルごとにクリスタルおよび認証ピンが贈られます。クリスタルに刻む名前や配偶者の情報などを確認するため、対象者のクラブ宛へ送られる「メジャードナー認証回答書式」に記入し、返送します。本書式は、日本事務局よりメールで送られます。

- ⑤ **アーチ・クラumpf・ソサエティ (AKS : Arch Klumph Society、レベル 1～6]**
寄付分類に関係なく累計 25 万ドル以上の寄付された方の認証です。個人又は夫婦に対して贈られ、入会式があります。
- ⑥ **遺贈友の会 [レベル 1～10]**
遺産計画において 1 万米ドル相当以上の寄付を誓約した個人又は夫婦が会員となります。寄付は「恒久基金」として運用され、収益の一部がロータリー財団の活動を支えます。
※ 2 万 5 千米ドル相当以上の誓約の場合、誓約が果たされた際に「冠名基金」の設立を同意書に含めることができます。
※ レベル 7 からは、併せてレガシー・ソサエティの会員となります。
※ 税制上の優遇措置があります。
- ⑦ **レガシー・ソサエティ (Legacy Society)**
恒久基金に 100 万米ドル以上の寄付を誓約（遺贈などを含む）した個人又は夫婦が会員となります。
- ⑧ **ポール・ハリス・ソサエティ (PHS : Pole Haris Society)**
年次基金、ポリオプラス、ロータリー災害救援基金、承認された財団補助金プロジェクトへの寄付として一括又は合計で毎年 1,000 米ドル以上の支援を約束いただける個人の認証です。約束を履行している間は PHS 会員です。
※ PHS 会員入会については PHS 推進用パンフレットにて申し込むか又は RI ウェブサイトにアクセスして入会します。

—PHS の入会方法—

My ROTARY にログインし、画面上部タブの「My ROTARY」→「寄付者の認証」→「ポール・ハリス・ソサエティ・メンバー」の文末にある「詳細はこちらから」をクリックする。ページ下部にある「PHS 入会フォーラム」をクリックすると、フォームが表示される。→必要事項を入力する。

会員情報：地区番号、会員 ID、姓名（ローマ字）、E メールアドレス→入力完了後「SUBMIT」を押す。

（データ送信が完了すると、地区ポール・ハリス・ソサエティコーディネーターへの情報が通知され、追って、確認メールが届く）

※ 恒久基金及び法人からの寄付は対象外です。

- ⑨ **ポリオプラス・ソサエティ (PPS : Polio Plus Society)**
あと少しとなったポリオ根絶までの活動資金の安定と増加に協力いただくため、地区単位で、ポリオ根絶まで毎年 100 ドルを「ポリオプラス」にご支援くださるロータリー会員の参加・登録を進めていただくものです。実施は地区主導となっているため、登録や登録証、ピンバッジ等については地区へお問い合わせください。

第 2560 地区 2024-25 年度 2 月末 会員数報告

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	3	-	377	384	42	7
新発田	3	30.4%	87	92	1	5
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	29.4%	33	33	2	0
中条	4	100.0%	49	51	3	2
新発田城南	4	25.0%	39	40	5	1
豊栄	3	26.1%	23	23	2	0
新発田中央	4	9.1%	43	44	6	1
中条胎内	3	50.0%	39	38	9	-1
村上岩船	3	28.0%	26	25	6	-1
第2分区 (9クラブ)	3	-	447	459	31	12
新潟	3	33.3%	78	81	3	3
新潟東	4	19.0%	62	63	7	1
新潟南	4	36.8%	113	114	8	1
佐渡	1	75.0%	4	3	0	-1
新潟西	4	60.0%	52	55	3	3
佐渡南	3	12.5%	38	40	3	2
新潟北	3	31.6%	37	38	1	1
新潟中央	2	37.5%	23	24	0	1
新潟万代	4	56.1%	40	41	6	1
第3分区 (5クラブ)	3	-	94	98	8	4
新津	4	50.0%	15	16	1	1
村松	3	52.9%	15	17	1	2
白根	4	26.5%	31	34	2	3
新津中央	4	38.5%	27	26	4	-1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	5	0	-1
第4分区 (11クラブ)	3	-	354	356	31	2
三条	3	12.3%	54	57	0	3
燕	3	7.0%	42	42	3	0
加茂	3	10.0%	29	30	4	1
三条南	3	21.1%	37	38	3	1
分水	3	70.0%	30	31	4	1
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.0%	24	25	3	1
三条北	3	14.6%	52	48	4	-4
巻	3	8.0%	26	25	2	-1
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	3	20.6%	34	34	5	0

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	3	-	297	297	30	-1
長岡	3	60.9%	47	46	5	-1
柏崎	4	4.3%	45	46	0	0
長岡東	4	27.1%	60	59	9	-1
柏崎東	3	19.5%	41	41	2	0
栃尾	3	25.0%	20	20	1	0
長岡西	3	20.0%	49	50	3	1
柏崎中央	2	28.6%	35	35	10	0
第6分区 (6クラブ)	3	-	114	121	11	7
十日町	3	25.0%	28	36	7	8
小千谷	2	14.8%	27	27	2	0
雪国魚沼	4	23.1%	26	26	2	0
十日町北	2	0.0%	10	10	0	0
津南	3	28.6%	15	14	0	-1
越後魚沼	2	50.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	3	-	303	312	23	9
高田	3	36.4%	67	66	4	-1
直江津	3	35.1%	72	74	6	2
新井妙高	2	18.9%	34	37	1	3
糸魚川	3	83.0%	43	45	3	2
高田東	2	54.5%	33	33	2	0
糸魚川中央	4	46.7%	26	30	3	4
越後春日山	3	81.5%	28	27	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
2月末会員数	2,027 人
女性会員数	176 人
純増減会員数	41 人
My Rotaryアカウント登録率	32.0 %

地区主要行事予定

2025年3月18日現在

年 月 日			行 事	会 場
2025年 (R7) 南雲年度	4月	環境月間		
		5	(土) グローバル補助金奨学生選考会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		5	(土) ローターリー財団・米山合同メジャードナー感謝の集い	ANAクラウンプラザホテル新潟
		6	(日) 新津RC創立70周年記念式典	新潟市新津地域交流センター / 榊形屋
		12	(土) 越後春日山RC創立30周年記念式典	ホテルハイマート
		12~13	(土~日) 第1地域合同PHS・PPS顕彰式	宇都宮市内ホテル
		13~17	(日~木) 2025年規定審議会	シカゴ
		16	(水) 2024-25年度第2回ガバナーノミニー・ラーニングセミナー (GNLS #2)	JPタワー ホール&カンファレンス
		17~18	(木~金) クラブ活性化セミナー 2025	JPタワー ホール&カンファレンス
		18	(金) 2024-25年度第3回ガバナー会議／「G・GE・GN情報交流会ならびに組織連携委員会」	JPタワー ホール&カンファレンス
		18	(金) 2024-25年度ガバナーノミニー・デジグネートセミナー	JPタワー ホール&カンファレンス
		18~20	(金~月) インターアクト国際交流事業(台湾受入れ)	2840地区
		19	(土) 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		19	(土) 第3回青少年交換派遣学生オリエンテーション	アオーレ長岡 ホールD
		22	(火) 新潟RC創立85周年記念式典	ホテルイタリア軒
		26	(土) 室賀年度 地区研修・協議会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		26~27	(土~日) 第12回全国IA研究会	2600地区
		未定	防減災セミナー	長岡市
	5月	青少年奉仕月間		
		10~11	(土~日) 第17回全国RYLA研究会	D2710
		17	(土) グローバル補助金奨学生オリエンテーション	ホテルイタリア軒
		17	(土) ローターアクト地区協議会	三条市
		24	(土) 佐渡南RC創立50周年記念式典	アミューズメント佐渡・Ryokan浦島
		31	(土) 第9回日台親善会議札幌大会	札幌市内
		31	(土) 南雲年度ビギナーラーニング	長岡市中央公民館 さいわいプラザ

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡南	山田 義徳	2025.02.01	山田社会保険労務士事務所	代表	社会保険労務士
新井妙高	平澤 俊和	2025.02.19	㈱八十二銀行 新井支店	支店長	貯蓄銀行
燕	本間 守男	2025.02.20			不動産業
水原	田中 正樹	2025.03.01	はばたき信用組合阿賀野支店	支店長	金融業
村松	樋口 大	2025.03.01	㈲樋口	代表取締役	燃料小売業・ガソリンスタンド

【訃報】

ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
燕	小林 茂	2025.03.02	㈱ショーリン	社長		
田上あじさい	丸山 記義	2025.03.18	㈱丸山オートサービス	会長	自動車整備	



毎日がポリオデー

第1地域 ポリオ根絶コーディネーター 松田 英郎（富良野 RC）

2024年10月19日今年度もポリオ根絶に関してロータリーが日経新聞に広告を出した。ご承知のようにポリオ根絶はロータリーの最優先事項で、我々の取り組みを少しでも知っていただきたい、支援を広げたいとの意思表示である。

今まで、野生型ポリオウイルスの根絶を約束し、着実に結果を出してきていたが、ここへ来てあと少しの所での足踏み状態となっている。しかし、ここで後戻りすることはできないのである。

ポリオウイルス感染は生ワクチン由来（伝播型）の感染が各国で発症しており、多くの先進国で近年ポリオ感染が無いため、ワクチン接種を行わず、免疫力低下により成人でもポリオ感染者が存在している。完全に油断である。

昨年9月からの「ガザ地区での停戦、ワクチン接種施行」はご承知の方も多いと思われるが、戦争は武器のみならず、感染症で子どもの健康まで奪い取る残忍な状態の故、人道的観点から一時停戦しワクチンを接種した。接種率を90%以上達成（予防に必要な接種率）したようである。

日本は太平洋戦争の敗戦後、最貧国となり、ボロボロの状態で多くの感染者が発症した。運良くカナダ、ソ連からのワクチンの緊急輸入で、急速にポリオ感染が急速に収束した。しかし、ワクチン接種を終了せず、今も不活化ワクチン接種が行われている。生ワクチンと違いワクチン由来のポリオ感染はほぼ無いと言っているが、輸入ポリオによる感染のリスクはある。日本も対岸の火事ではすませないのだ。

なぜ今さらポリオと言う意見がある。グローバルな社会で全地球を考えると「根絶できうるいま進行形の病気」であることを知っていただきたい。

10月には多くの地区で、ポリオに関して多くの催しが開催されたと思われる。たくさんの寄付を頂き、多くの方へのアピールはきっと成功したに違いない。だが、その時だけで終わってはならない。

これから、「毎日がポリオデー」と言いたい。





第2地域 ロータリーコーディネーター 野口 英一（甲府 RC）

国際協議会が終わり、ガバナーエレクトの皆様は三大セミナー開催の真っ最中、クラブ会長・幹事エレクトの皆様も PETS (PELS) や地区協など次年度の準備に忙しい時期かと存じます。

今年の国際協議会では、マリオ会長エレクトのイニシアチブとして、会員増強を最重要課題とし、革新、継続性、パートナーシップの重要性を語られました。単年度制のロータリーにおいて、ここ数年継続性を特に強調されています。行動計画と 3-Year rolling goals はその重要なツールの一つと言えます。クラブの現状をしっかりと認識し、次年度・次々年度も含めて 3 年間の目標を立てる、そして毎年見直して成長に繋げようというものです。各地区の行動計画推進委員の指導の下、入力を強く奨励しております。（My Rotary クラブセントラル に直接入力、詳細は [JAPAN ポータルサイト](#) または右 QR コードからご覧下さい。

地域の経済団体、各業界団体、教育機関等とのパートナーシップを深め、ロータリーのインパクトを高めていきましょう。

国際協議会では、「クラブは地域社会で存在感を持っていますか」という問いかけがありました。何をやっているか分からないクラブに入りたいと思うでしょうか？地域社会に根差した活動や国際奉仕をしっかりと実践し、地域の皆様から自分も参加したいと思われるようなクラブ作りこそが基本です。ホームページや各種メディアの利用、SNS での発信なども重要になります。次年度が素晴らしい年度になりますよう期待しております。

現ガバナー、クラブ会長幹事さんは年度終盤、年度末の会員減などがないように例会や活動を更に充実させて頂き、次年度への引き継ぎと 3Year への記入を必ずおやり頂きたく存じます。

前回好評でしたクラブの現状を確認できるグラフを一部修正して掲載しますのでご利用下さい。





第3地域 行動計画推進リーダー 硯川 昭一（熊本江南 RC）

既に8月号にて第1地域菅原さん、11月号にて第2地域桑澤さんより、「ロータリーの行動計画(指針)の推進」と「3-year rolling goals」につきまして、その意義、経緯、そして現状につきましての詳細なお話がありました。今や、3年間に改修されたクラブセントラルへ、各クラブの方針の目安が連携する役員によって議論され、3年分繰り返し入力して行くことが周知されつつあると感じています。改修されたクラブセントラルの26項目。その中には6つの最優先目標が含まれています。これらは4つの優先事項(行動指針)に沿って項目化されています。

「より大きなインパクトもたらす」ここにはロータリー財団補助金を使った積極的な奉仕活動と、奉仕後、その結果をしっかりと検証していくことが謳われています。ここでは6つの最優先目標の中の3つ。「財団寄付」に関することが主題となっています。

「参加者の基盤を広げる」これは会員増強を目指しています。多くの団体とのパートナーシップを築きながら、公共イメージアップにも力を入れ、新クラブも立ち上げて行こうというものです。ここでの最優先目標はずばり「会員増強数」となります。

「参加者の積極的なかわりを促す」これは会員維持を強調しています。ベテラン会員も若い会員ももれなく、親睦活動、奉仕活動に積極的に参加できているか、しっかり目配せ願いたいということです。さらに若い会員にとっての関心の一番はリーダーシップスキルの向上とありますので、RLIへの参加、マイロータリーからのラーニングセンター活用などは特に重要かと考えます。この最優先目標は、「奉仕活動に延べ何人が参加するか」ということです。

「適応力を高める」つまり革新的なクラブを作ろうということですが、これは、コロナ感染症によりまして、ロータリークラブでは劇的に進みました。今では当たり前のZOOM会議ですが、コロナ感染症前はとても想像つかなかったことかと思ひます。今年規定審議会が行われますが、クラブでも例会方法、会員資格など柔軟にクラブ細則を見直して頂きたいと思ひます。ここでの最優先目標は「戦略計画があるか」です。

クラブセントラルの26項目のうち、少なくとも半分以上を設定し達成することにより、クラブ優秀賞がもらえることになっています。これらの6つの最優先目標も26項目に含まれており、達成することにより受賞に近づいて行きますので、積極的に取り組んで参りましょう。

さらに、新しい試みとしまして、次年度はグーグルフォームによる進捗状況報告を活用した、クラブサポートミーティングを定期的で開催することが、水野 RI 理事主導のもとガバナーエレクトと検討されています。以上申し述べましたが、クラブによって関心度は全く違うかもしれません。しかしながら、まずは一步踏み出してみようではありませんか！





1 【訃報】小沢一彦名誉理事長 逝去

当財団名誉理事長の小沢一彦氏が、2月13日に逝去されました。享年87歳でした。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。



故・小沢名誉理事長は1978年に横須賀ロータリークラブに入会。2000-01年度国際ロータリー第2780地区ガ

バナー、2007-09年度国際ロータリー理事、2010-14年度ロータリー財団管理委員会委員など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

2014年9月から当財団の第六代理事長をお務めいただき、2018年9月からは名誉理事長として、当財団の活動に多大なるご尽力をいただきました。「米山奨学事業の宝は米山学友である」と語り、数多くの米山学友と交流されました。

小沢氏の長年のご貢献に感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2 4人目の紺綬褒章受章者が誕生

国際ロータリー第2770地区岩槻東ロータリークラブの杉田政男氏が、昨年12月21日付で紺綬褒章を受章されました。

紺綬褒章は公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人や団体に対し、天皇陛下から授与される褒章です。当財団では2018年9月に公益団体認定を受けて以来、4人目の受章者となりました。

杉田氏は2003年2月に日本赤十字社へ多額の寄附をした功績により初めて紺綬褒章を受章されており、今回、異なる支援先として当財団

へご寄付いただきました。

杉田氏は今回の受章について、「ロータリーで学んだ社会奉仕の精神に基づき、日本で学ぶ外国人留学生を支援する事業に賛同し、一人でも多くの学生を受け入れることを望んでいます」と述べられています。



心より感謝とお祝いを申し上げます。

3 寄付金速報 — やや低調傾向に —

前年同期比

-9.7%

普 -2.1%

特 -13.3%

2月末までの寄付金は前年同期と比べて9.7%減（普通寄付金:2.1%減、特別寄付金:13.3%減）、約1億1,320万円の減少と

なりました。今月の寄付金は、前年度の初めに高額寄付をいただいたことによる影響を差し引いても、やや低調な結果となりました。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続き皆さまのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

当財団は「紺綬褒章」の公益団体認定を受けています

当財団は2018年、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました。

個人では500万円以上、団体、企業等は1,000万円以上をご寄付をいただいた方で定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章の授与申請が可能です。紺綬褒章の申請に向けたご寄付を検討されている場合は、**あらかじめお申し出ください**（分納も可）。詳しくは当財団事務局まで。

4 マレーシア米山学友会 総会開催

2月15日、マレーシア米山学友会総会がハイブリッド形式で開催され、会場に28人、オンライン7人の計35人が参加。また、日本からは第2500地区&2510地区米山学友会会長の陶惠栄さん

(1997-98/札幌南RC)、第2580地区米山学友会会長の楊子明さん(2002-03/東京新橋RC)



が参加しました。

総会は黄建榮さん(1998-2000/室蘭東RC)の挨拶で始まり、各種報告が行われました。同学友会は、日本留学を希望するマレーシアの学生に対するサポートに力を

入れており、活動報告では留学フェアでの取り組みなどが紹介されました。

5 タイ米山学友会 総会開催

2月22日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、米山学友のほか、日本からロータリー会員3人が駆け付け、参加者は計32人となりました。

総会は同学友会会長のペチニン ナレスさん(1994-96/越谷RC)の挨拶で始まり、各種報



告が行われました。活動報告では、2024年8月に発生した大雨・洪水によりタイ北部を中心に大きな被害が出たことについて、同学友会が取り組んだ被災

地域への支援活動などが紹介されました。

6 ベトナムの子どもたちに自転車を 第2620地区学友会

2月22日から25日にかけて、第2620地区米山学友会の4人がベトナム北中部のタインホア省バートゥオク郡にあるラム・サ小学校チャン村分校を訪問し、1年生から5年生までの33人へ自転車の寄贈を行いました。

この奉仕活動は、昨年ベトナムに大型の台風が上陸し、同学友会に所属するレー チュオンロクさん(2020-22/甲府南RC)の地元であるタインホア省が大きな被害を受けたことが分かり、被災地の子どもたちが安心して学べる環境を整えるために企画されました。

自転車を受け取った生徒たちは喜び、日本語で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えてくれたそうです。小学校の先生によると、学習環境



小学校の朝礼に参加し自転車を寄贈

が不十分であることに加え、毎年のようにやって来る台風の被害で苦しい状況にあるとのこと。通学に苦勞する子どもたちの負担が軽減され、勉強に励むことができるようになるとして、「このような支援を受けることができて本当にありがたい」との言葉をもらったそうです。

同学友会副会長で、現地を訪問したファム ゴック アンさん(2020-21/浜松南RC)は、「まだまだ困難な状況に置かれている人々がたくさんいることを改めて実感しました。サポートいただいたすべての方々の力を合わせたことで実現できた奉仕活動であり、大きな達成感を感じています」と述べました。



自転車を受け取り喜ぶ生徒たち